

(別表第1の4)

目標達成計画

事業所名： グループホーム多賀の里

作成日： 令和5年11月22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	2・15	職員が利用者の生活を管理することなく、利用者が主体の生活が送れて生活の質の向上に繋がられていない。	日々の暮らしの中で職員間で情報共有を行い、利用者自身が何をするか決めながら楽しみを持って生活が送れるようになる。	・各担当でアセスメントをしっかりと行い、職員間で情報の共有を行う。24時間シートも活用し、利用者一人ひとりが何が出来るのか把握を行い、残存能力を活用しながら、役割や楽しみを持った生活を送ってもらう。	6 か月	
2	18	口腔ケアの必要性や正しい方法を学ぶ機会がない。	口腔ケアの重要性を把握し、十分な知識を得ながら口腔清潔や誤嚥性肺炎などの予防に努めていく。	・協力病院の歯科へ依頼し、口腔ケアの方法や知識を学ぶ機会を設ける。 ・毎食後の口腔ケアの実施は継続していき、その人に合った歯ブラシなどの購入を行っていく。	6 か月	
3	21	日中、傾眠している利用者や体幹の保持が十分でない利用者が不安定な体制で座っていることがある。	利用者の状態を把握し、楽で安全な体制で過ごせれるようにする。	・利用者の姿勢や状態の把握を行い、適度に体を休める時間の確保を行っていく。 ・適度な昼寝の時間を確保しながら、夜間睡眠の妨げにならないようにする。	3 か月	
4	39	地域との関わりがほとんどなく、地域行事等に参加出来なくなっており、地域との繋がりが薄くなっている。	出来る限りの地域行事に参加し、場合によっては利用者と一緒に交流を持ち、繋がりの関係を構築していく。	・地域行事へ出向いて行き、「多賀の里」の周知を行っていく。 ・防災訓練などに地域として参加を行い、共に助け合う仲になっていけるように働きかけていく。	6 か月	
5					か月	

注1) 項目番号の欄については、自己評価項目のNo.及び小項目のアルファベットを記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。